

新大田市立病院建設について

市立病院事務局

1、基本設計書の概要

(1) 基本構想に基づき基本設計を作成

市民が安心して適切な医療が受けられる病院づくりを基本に置き、大田二次医療圏の中核病院として、また政策医療を担う自治体病院としての機能を確保した病院設計としました。

(建築概要)

病床数 : 284 床

延床面積 : 21,490 m²

構造・階数 : RC造(免震構造)、地上5階

※1階: 外来・救急・検査等、2階: 管理部門・手術・健診・透析等、3階~5階: 病棟

(2) スケジュール(全体工程)

- ① 本体工事に先立ち平成26年度に造成工事に着手。併せて、造成に伴い不足する駐車場確保のため、解体予定である未利用のスタッフ宿舎について今年度解体します。
- ② 本体工事については平成26年度に実施設計を策定、平成27年度着工、平成29年秋の開院を目指します。
- ③ 開院後、新館を除く既存施設を解体し、グランドオープンは平成30年の予定です。

2、事業費の状況

(1) 基本構想からの変動要因 … 資材費、人件費などの全国的な高騰等

- ① 資材費や人件費(労務単価)などの高騰による建設コストの大幅な上昇
- ② その他基礎構造の工法検討等

(2) 概算事業費 … 基本構想112億 ⇒ 基本設計139億

※事業費は現時点での状況に基づく概算額であり、確定したものではありません。

(比較表)

項目	内容	基本構想	基本設計
用地造成	測量調査、用地取得、地質調査、設計費、造成工事等	4億	4億
建設工事	設計・監理費、本体工事、外構、解体、宿舎、移転費等	83億	110億
うち本体工事	病院本体工事費	66億	90億
医療機器整備	医療機器	25億	25億
計		112億	139億

3、今後の対応

- ① 建設のための財源確保に向け、国・県など関係機関への要請を行います。
- ② 実施設計にあたり内容精査と施工方法や仕上げ等を検討します。
- ③ 資材費や人件費の高騰は当分の間続くものと予想されるため、発注に向けて、今後の動向を注視します。